リーディングDXスクール事業 【実践事例】

矢板市立矢板小学校

【取組内容①】スプレットシートでふり返りを共有　～「学習のふり返り」と「学び方のふり返り」～

【実践の目的】
①他者のふり返りを参考にしながら、ふり返りの内容の充実を図っていく。
②毎時間、学び方をふり返り、学習者としての態度を育成する。

【実践内容】
・児童に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を視点とした「学び方」について伝える。
・めあての設定時に「自分事として問題解決に粘り強く取り組むことができる」「学習の進度や理解度を考えて、個人、ペア、グループを選択して学ぶことができる（学習を自己調整する）」「多くの他者と話し合い考えを広げたり深めたりすることができる」から、本時の授業で特に頑張りたいことに☑を入れる。
・ふり返り時に、「学習のふり返り」に加えて、「学び方のふり返り」をする。

13．四角形と三角形の面積

	名前	時間	学び方のめあて	振り返り	学習のめあて	学習のふりかえり
1		1/11	自分事として問題解決に粘り強く取り組むことができる 学習の進度や理解度を考えて、個人、ペア、グループを選択して学ぶことができる（学習を自己調整する） 多くの他者と話し合い、考えを広げたり深めたりすることができる	○ ○ ○	ひし形の面積の求め方を考え、公式を作ろう。	ひし形の公式を求めて対角線の長さが分かれば求められる
2		1/11	自分事として問題解決に粘り強く取り組むことができる 学習の進度や理解度を考えて、個人、ペア、グループを選択して学ぶことができる（学習を自己調整する） 多くの他者と話し合い、考えを広げたり深めたりすることができる	○ ○ ◎	ひし形の面積の求め方を考え、公式を作ろう。	ひし形の面積の求め方はあまり分からなかったけど今日の学習で縦の対角線×横の対角線÷○で分かると分かりました、なのでこれからひし形の問題が来たら活用していきたです
3		1/11	自分事として問題解決に粘り強く取り組むことができる 学習の進度や理解度を考えて、個人、ペア、グループを選択して学ぶことができる（学習を自己調整する） 多くの他者と話し合い、考えを広げたり深めたりすることができる	○ ○ ○	ひし形の面積の求め方を考え、公式を作ろう。	ひし形の面積の求め方をグループの人と意見を出し合ってより良くできるようにしました。
4		1/11	自分事として問題解決に粘り強く取り組むことができる 学習の進度や理解度を考えて、個人、ペア、グループを選択して学ぶことができる（学習を自己調整する） 多くの他者と話し合い、考えを広げたり深めたりすることができる	○ ○ ○	ひし形の面積の求め方を考え、公式を作ろう。	ひし形の面積は覚えづらくてわからないときもあるかもしれないけれどグループに教えてもらったりして正確に覚えたいです。

【実践を振り返って】
・他者のふり返りを見ることで自分にはなかった視点で授業をふり返ることができる。
・４５分を通して「学び方」を意識しながら授業に参加できる。